

しが国際協力親善大使レポート

いつの ^{すすむ}
伊津野 進さん

隊次：2015年度2次隊

職種：品質管理・生産性向上

派遣国：コロンビア

任地紹介

2015年9月末からコロンビアへ派遣されています。平成23年3次隊でベトナムのホーチミン市に派遣され、今回2回目のシニアボランティアです。前回と同じく中小企業にて品質管理・生産性向上の支援を行っています。任地のメデジン市はコロンビア第二の都市で近郊を合わせると人口300万人ほど。アンデス山中の盆地に開けた街で標高1,500メートルに位置し、赤道近くですが高地にあるため年中温暖な気候で常春の街といわれています。アンティオキア県の中心都市で、市内では繊維産業、近郊の高原地域では花卉栽培が盛んです。毎年8月には花祭りが開催され多くの観光客でにぎわいます。2013年にウォールストリート・ジャーナルとシティグループが実施した「今年の最も革新的な都市」コンテストで一位になったことでも有名で、教育施設が数多く存在し、メトロと呼ばれる国内唯一の電車が走る街です。



写真-1 メデジン市



写真-2 メデジン市と近郊の都市を走るメトロ

活動内容と生活について

メデジン市にて活動を開始して2か月近くが経過しました。配属先のアンティオキア科学技術センターには日本でJICAの研修を受講した人が多く大変親日的で、恵まれた環境で活動しています。配属先が主催する生産性向上改善活動のEnplantaプロジェクトが進行中で、メデジン市および近郊の企業では改善活動が盛んにおこなわれています。2015年の改善活動発表会のため着任後間もなく20社の企業を訪問し改善活動の状況を見て回りました。写真-3はその時訪問した企業から記念品としていただいたマグカップとノートでKaizenと書かれています。日本語の改善という言葉がそのまま通用します。12月2日に2015年改善

活動発表会が盛大におこなわれ、100 余りのグループから選抜された 15 グループが発表をおこないました。私も審査員として参加しました。日本の小集団活動と同じ改善手法を用いて改善活動を進めています。優秀グループから 10 名が、日本の改善活動を学ぶため日本への研修旅行が予定されています。多くのことを学んで帰国し、企業のなかで推進役として活躍することを期待しています。



写真-3 Kaizen マグカップとノート



写真-4 2015 年 改善活動発表会フィナーレ



写真-5 発表会の後 配属先の人たちと記念撮影

改善活動発表会終了後は、翌年へ向けてメデジン市内に多いアパレル企業や郊外の花卉農園を中心に、改善活動をまだ始めていない企業を訪問しています。メデジン市郊外の高原地帯は花作りに適した気候と空港が近いという地の利を生かして切り花の輸出が盛んです。アジサイを主に栽培している数件の農園を訪問しましたが、高原の澄んだ空気と一面に広がる緑の花卉農園は素晴らしい風景です。この辺りでは日本人が珍しいため歓迎されています。コロンビアから日本へはカーネーションが多く輸出されています。

住居は配属先のオフィスがあるセントロと呼ばれる旧市街から離れた、新しいオフィスビルやアパートが立ち並ぶ地域にあります。近くには大きな商業施設が多数あり便利な場所です。発展に伴い市街地が拡大しているためビルの建築工事がいたるところで行われ、今後さらに大きく発展していくものと思われます。

コロンビアには南国の美味しい果物が豊富にあります。オフィス近くの屋台でマンゴー、バナナ、パイナップル、パパイヤを刻んでカップに入れ販売しています。大盛りで日本円にして 80 円ほどで日本と比べると安く、とてもおいしいです。